

誘い合い登校、ファミリー活動

学校教育目標の具現のために

2018.04.16

No.04

校長 渡邊 幸二

平成30年度がスタートして、1週間が経ちました。転任組の私は、仕事に忙殺されて、うまく行っているのかどうか見えていない状況で申し訳ないのですが、子どもたちの様子や先生方を見ている限り、まずまずの船出ができていますように思います。「浜田丸」という船の安定した航行は、その乗組員である先生方がしっかりと舵取りしてくれているからに他なりません。本当にありがとうございます。

誘い合い登校のメリット

多くの学校が登校班での登校をしている中、浜田小学校は「誘い合い登校」をしています。「公益」と同じく、傍から見ると浜田小学校独特の取り組みだと思えます。私はこの何日間か子どもたちと一緒に登校してみて、このシステムは「自立」「自己管理」という点でとても良い取り組みだと感じました。

登校班で登校している子どもたちの最大のデメリットは、子どもたちが「登校班任せ」になってしまう点です。たとえば、先頭の班長に付いて歩くことになるので、自分が安全を確認することが疎かになってしまう、つまり**登校班長に脳みそ(命)を預けてしまった思考停止状態になっている**ことです。登校班の後ろにいる1年生、そしてその後ろの子どもたちは、案外左右を確認せずに道路を横断します。ひどい場合は信号すら見ないで道路を横断して行きます。みんながみんなそういうわけではないのですが、そんな思考停止場面に往々にして出くわします。一見安全なようで非常に危険です。

浜田小学校の「誘い合い登校」でも、そういう思考停止状態になる危険性があります。しかし、上級生が先頭でみんなに気を配りながら登校しているというわけではなく、1年生や2年生が先頭だったり、遅れてしまったのかぼつんと一人で登校したりしている場面を見かけます。すると、学校だよりも書きましたが、**自分で安全を確認して、危険を察知しながら歩く**ということになるようです。私は、これが基本だと思えます。「自ら考え、自らの力で生きる」ための第一歩だと思うのです。

しかし、ただ何となく、だらっとしたグループのような形で一緒に歩いてくるだけではもったいないとも思います。せっかく縦のかかわりのある集団になっていますので、上級生がリーダー



ーシップを発揮したり下学年がフォロアーシップを発揮できる場になったりすると思うのです。このことも学校だよりに書きましたが、上学年の子どもが1年生と手をつなぐ、歩調を合わせるなどの行為は、他者意識を向上させるチャンスだと思います。もちろん、1年生は幼稚園などでリーダーとして活躍してきた年長さんですから、そんな子ども扱いは不要かもしれません。が、安全を最優先で考えたとき、上級生がリーダーシップをとって歩いてくることには大きな価値があると思います。そういう意味で、今回の「誘い合い登校確認の会」ができていたらありがたいです。

マンパワーの不足をどう補うか

さて、ファミリー班による清掃活動も始まりました。一緒に掃除をしていて思うのは、少ない人数でよくがんばっているということです。空き教室ではありますが、小さな子ども2人で掃除している様子も見られます。人があり余っていたり時間に余裕があり過ぎたりするよりずっと良い環境だと思います。必死にやることで**集中力**も生まれますし、**仕事の段取り**を考えることもできるでしょう。他にも**粘り強さ**などの**非認知能力の育成**が大いに期待できます。

ただ、マンパワーの不足に困難さや限界を感じるとしたら、それはそれで考える必要があります。その場合、人を増やすことはできませんから、時間を延ばすか場所を狭めるかなどの方法を考えなければいけません。でも、そのどちらも避けたいです。ですからまた別の方法、たとえば、掃除用具を工夫することを考えてもいいかもしれません。ワイドサイズのペーパーモップを使うこと、場所によってはハンディ掃除機を使うことなどです。担当が考えることも必要ですが、**学校教育目標の具現のためにどういう方法が良いのか**、このままでいいのか少し検討してみるのもいいかもしれません。

ただ、これまでの反省などをお聞きしますと、“時間いっぱい働く”ということが課題として挙げられていたように思います。子どもですので、時間配分などができないのでしょうか。よく「仕事は段取り八分」と言われるように、**どこまで、誰が、いつまででかす**といった計画立案力を鍛える意味でも、先生方と相談しながら掃除の段取りを考えてみるのもいいと思います。“はじめの8分で〇〇まで終え、5分で～をやる。残り時間で反省会だけど、もし時間があるときは①～をみんなで拭く②～のごみを拾う③机を拭く”などと決めておけば、自分たちで計画したような動きを自らとるのではないかと思います。よろしくお願いします。

